

1 品詞

1.1 品詞の分類

1.1.1 名詞 (Noun)

名詞はモノやコトを表す品詞であり、文構造の骨格にかかわってくる品詞である。文構造の中では S（主語）、O（目的語）を主に担い、場合によっては C（補語）を担うこともある。また、複数の単語が集まって名詞句や名詞節を形成すると、その塊で名詞としての役割を担うことがある。

e.g., Apple, School, Pen

1.1.2 動詞 (Verb)

動作や状態などを表す品詞であり、文構造の骨格にかかわってくる品詞である。文構造の中では V（述語）を担う。

e.g., take, have, live

1.1.3 助動詞 (Auxiliary verb)

文字通り動詞の意味を補助する役割の品詞である。動詞とセットで意味を成す。

e.g., can, will, must

1.1.4 形容詞 (Adjective)

名詞（名詞句、名詞節）を修飾する品詞である。必ず紐づいている名詞がある。通常の限定用法では文構造の骨格にかかわってこないが、直接 S（主語）を叙述するような叙述用法では C（補語）を担う。

e.g., beautiful, cool, high

1.1.5 副詞 (Adverb)

名詞以外（主に動詞や文全体）を修飾する品詞である。文構造の骨格にかかわってくることはない。ある意味、ほかの分類に当てはまらないものが副詞と分類されていると言ってもよい。

e.g., always, carefully, just

1.1.6 接続詞 (Conjunction)

文と文をつないだり、節を導いたりする品詞である。

e.g., and, but, if

1.1.7 前置詞 (Preposition)

文字通り名詞の前に置いて関係を示す品詞である。

e.g., in, on, of

1.1.8 冠詞 (Article)

名詞の前に置いて、その名刺が特定のものかそうでないかを示す品詞である。

e.g., a, an, the

1.1.9 間投詞 (Interjection)

「わぁ」のように呼びかけを表したりする。

e.g., wow, oh, ah

1.2 品詞決定の重要性

以下の表を見てみよう。

品詞	意味	例文
名詞	背中、背後	There is a bug on my back. 背中に虫がついている。
動詞	後援する	I back this politician. 私はこの政治家を後援している。
形容詞	後ろの	I entered by the back door. 私は裏口から中へ入った。
副詞	後ろに	I came back. 私は戻ってきた。

例では back を挙げたが、名詞・動詞・形容詞・副詞など、使い方が複数ある英単語は枚挙にいとまがない。例文のように単純明快な文章であればよいが、複雑な文章では、語順、近くの単語の形、文脈上のつながりなどを手掛かりにして、各単語の品詞を決定させなければならない。品詞の決定（特に動詞）を誤ると、文構造の把握は当然であるが、文の概要の把握にも失敗してしまう。入試問題で見かける難しい文章というのは、品詞決定しづらい単語を使ったり、入れ子構造を使ったり、転置や省略を多用したりして、巧みに難解な文章を作り上げている。このような文構造のトリックを看破できるようになれば、英語はもはや敵ではない。

2 要素と文型

2.1 要素

2.1.1 主語 S (Subject)

主語の要素を担うのは名詞（名詞句・名詞節）のみである。どの文型にも必須の要素である。

2.1.2 述語 V (Verb)

述語の要素を担うのは動詞（動詞句）のみである。どの文型にも必須の要素である。

2.1.3 目的語 O (Object)

目的語の要素を担うのは名詞（名詞句・名詞節）のみである。SVO、SVOO、SVOC に必要な要素である。

2.1.4 補語 (Complement)

補語の要素を担うのは名詞（名詞句・名詞節）と形容詞（形容詞句・形容詞節）のみである。SVC、SVOC に必要な要素である。

2.1.5 修飾語 (Modifier)

修飾語とは、上記の 4 要素以外のものである。修飾語の要素を担うのは主に副詞（副詞句・副詞節）である。文構造にはかかわらない要素なので、文の中にいくつあってもよいし、逆になくてもよい。よって、5 文型のどの構成要素でもない。

要素	品詞
主語 S	名詞
述語 V	動詞
目的語 O	名詞
補語 C	名詞・形容詞
修飾語 M	副詞

2.2 文型

2.2.1 第 1 文型: SV

主語 S と述語 V で構成される文。例えば、純粹に S と V だけで構成されている文章としては、以下のようなものがある。

I walk .
代名詞 動詞
S V

(1)

他にも、副詞が修飾語 M として付くようなケースもあるが、修飾語 M は文構造にかかわらないため、同じく SV の構造になる。

I walk slowly .
代名詞 動詞 副詞
S V M

(2)

前置詞に導かれている名詞がある場合は要注意である。前置詞に導かれている名詞は副詞句を形成するので、修飾語となる。つまり、文構造の骨格からは省かれる。

I walk to school .
代名詞 動詞 前置詞 名詞
S V 副詞句
M

(3)

2.2.2 第2文型: SVC

主語 S と述語 V と補語 C で構成される文。「主語 S=補語 C」の関係が成り立っている。補語 C は名詞の場合と形容詞の場合がある。

This flower is a rose .
代名詞 名詞 動詞 前置詞 名詞
S V C

(4)

This flower is red .
代名詞 名詞 動詞 形容詞
S V C

(5)

確かに、This flower = a rose と This flower = red の関係が成り立っていることがわかる。SV のときと同様に、修飾語 M がつくケースがある。繰り返しになるが、修飾語 M は文構造にかかわらないため、同じく SVC の構造になる。

This flower is probably a rose .
代名詞 名詞 動詞 副詞 前置詞 名詞
S V M C

(6)

2.2.3 第3文型: SVO

主語 S と述語 V と目的語 O で構成される文。「主語 S が目的語 O を動詞 V する」の関係が成り立っている。基本的には動詞 V の直後に目的語 O が来るので、動詞の直後に名詞の役割をするものが続いているとき、必ずそれは目的語 O である。一般的に、日本語で「○○を」となるときは目的語をとって SVO の構文になると言われている。おおよそは当てはまっているが、例外は多々あるのでこの覚え方は要注意。

I drink cold juice .
代名詞 動詞 形容詞 名詞
S V O

(7)

2.2.4 第4文型: SVOO

主語 S と述語 V と目的語 O₁ と O₂ で構成される文。「主語 S が目的語 O₁ に目的語 O₂ を動詞 V する」の関係が成り立っている。基本的には動詞 V の直後に目的語 O₁ が来て、その直後に目的語 O₂ が来る。

I give you a gift .
代名詞 動詞 名詞 冠詞 名詞
S V O₁ O₂

(8)

SVOO の構文は SVO の形に書き換えることができる。

I give a gift to you .
代名詞 動詞 冠詞 名詞 前置詞 名詞
S V O M

(9)

意味は同じく「私はあなたにプレゼントをあげる」というものだ。文法上は、O₁ の頭に前置詞 to が付いて修飾語 M になり、O₂ が目的語 O となっている。O₁ の頭に付くのは主に to だが、for などのほかの前置詞が付く場合もある。細かい部分は後に取り上げる。

2.2.5 第5文型: SVOC

主語 S と述語 V と目的語 O と補語 C で構成される文。SVC のときと近いが、今度は「目的語 O=補語 C」の関係が成り立っている。意味上は「主語 S が目的語 O を補語 C に動詞 V する」の関係が成り立っている。動詞の直後に名詞の役割をするものが2連続で来ているときは、SVOO か SVOC の構文を疑おう。SVC のときと同様に、補語 C は名詞の場合と形容詞の場合がある。

They call me John .
代名詞 動詞 名詞 名詞
S V O C

(10)

I keep my room clean .
代名詞 動詞 代名詞 名詞 形容詞
S V O C

(11)

一つ目の文は「彼らは私をジョンと呼ぶ」という意味になり、二つ目の文は「私は私の部屋をキレイに保つ」という意味になる。SVOC の構文をとる動詞は数が限られているので、頻出の形を覚えておけばよい。

2.3 自動詞と他動詞

後ろに目的語をとり、SVO・SVOO・SVOC の構文になる動詞を他動詞と呼び、後ろに目的語をとらず、SV・SVC の構文になる動詞を自動詞と呼ぶ。まったく同じ動詞でも、他動詞としても自動詞としても使える単語が存在する。どちらなのかで意味が変わることも多々あるため、動詞 V の直後が名詞の役割をするものなのかどうか、しっかり判断する必要がある。

I run for two hours .
代名詞 動詞 前置詞 形容詞 名詞
S V M

(12)

I run a hospital .
代名詞 動詞 冠詞 名詞
S V O

(13)

例えば run は、自動詞として使うと「走る」という意味になることが多いが、他動詞として使うと「経営する」という意味になることがある（もちろん run は多義語なので例外もあるが）。よって、上の文は「私は2時間走る」という意味になるが、下の文は「私は病院を経営する」という意味になる。単語帳で勉強するときは、自動詞としての意味と他動詞としての意味を把握しておくことが重要だ。また、自動詞として使われるとき、後ろにどのような前置詞が続くのかも覚えておく必要がある。

Appendix

日本語	英語（略称）	英語
<品詞>		
名詞	N.	Noun
代名詞	Pron.	Pronoun
動詞	V.	Verb
他動詞	V.T.	Transitive Verb
自動詞	V.I.	Intransitive Verb
助動詞	Aux.	Auxiliary Verb
形容詞	Adj.	Adjective
副詞	Adv.	Adverb
接続詞	Conj.	Conjunction
前置詞	Prep.	Preposition
冠詞		Article
定冠詞		Definite Article
不定冠詞		Indefinite Article
間投詞	Interj.	Interjection
<要素>		
主語	S	Subject
述語	V	Verb
目的語	O	Object
間接目的語	O ₁ , IO	Indirect Object
直接目的語	O ₂ , DO	Direct Object
補語	C	Complement
修飾語	M	Modifier